みなみ保育園・大石幼稚園の今後について意見交換会

平成 31 年 4 月 2 4 日(水) 午後 7 時 30 分~午後 8 時 59 分 大石地区市民センター1 階ホール 参加者 33 名

Q:認定こども園になった後、同じように休園基準を下回り、人数が少なくなった時はどうなるのか?

A:「こども園として統合するか」、「無くすか」等は、このような意見交換会をもって方向性を決定していく。ただし、幼稚園には休園基準があるが、保育園にはない。地域で話をし、決めていく形になると思う。

O: 土砂災害の危険な場所にあるみなみ保育園、大石幼稚園のリスクについてどう思うか?

A:急傾斜地であり、「こんな危ないところに来れるか!」という場所であることは認識しているが、両園の保護者には園を愛していただき、来てもらっていると思い、感謝している。

行政としてもこれに甘えず、みなみ保育園・大石幼稚園のアンケートに記載があるように 別の場所を求めていかなければならない。

近い将来、移転や整備について「みなさんとともに会をつくってやっていけないか」と思っている。この話は今年度からでもできる。保護者から「小学校はどうか?」、「中学校はどうか?」、「こうしたらよいのでは」等の意見をいただきたい。これは、認定こども園の話と平行してやっていきたい。

Q: みなみ保育園・大石幼稚園の今後について、具体的なことがわからない。具体的には進んでいないと考えていいのか?

A:決定した話をしに来ているわけではない。全員の話(希望)を聴くことはできないが、みなさんのお話をお聞きし、総合的に方向性を定めていきたい。行政としては「一番早い時期で来年から」ということを例示したもので、「来年から」とか「2年後から」という決まった話で来ているわけではない。同様に施設の移転も「ここの場所に行きます」と決まったものではない。

Q:「急にこども園にするのではなく、まずは意見を聴く」ということでよいのか。「大石幼稚園に 入園する時に、こども園の説明なかった」ということについては、少なくとも今通っている 子は卒園できると考えていいのか? A:説明がなかったことはお詫びする。

昨年9月に保護者からご意見を聞いた中で「こども園に」という声を頂き、今回の提案となった。「いつ」と決めて話をしに来たわけではない。新年度となり、新しい保護者も加わったことから、また新たな方にも最初から話を聞きながら方向性を決めていきたいと考えた。

地元の方との話については、昨年9月以降は地域に入らず、実施していなかった。アンケートにも「今在園している3.4.5歳が卒園するまでは」という意見もいただいている。総合的に考えて方向性を出していきたい。

Q:「地域に入っていなかった?関わってなかった?」とはどういう意味なのか?

A:そういう意味ではない。そういう意味に聞こえたらお詫びする。

Q:地域の人間として、確かに高齢化が進み、人口が減っているが、この地域は、小片野町を中心にコンパクトな町を形成しているので若者の移住も結構ある。今後、幼稚園、保育園がなくなるとますます過疎化が進む。市街化区域では大きなものが必要だが、コンパクトな形で維持していくために、若い人の環境を整え、確保する意味でも幼稚園・保育園がこども園となるといった一つのモデルケースとなるように、是非この地域で整備してほしい。

A:コミュニティの視点も含めてご意見をいただいた。近い将来は、安全な場所へ移転したいと思っている。大石地区には幼稚園、保育園、地区市民センター、学童保育がある。危険な場所もあるが、公共施設を考える中で一つの会を作って、様々なご意見をいただき、教育委員会等も入って、その中で方向性を決めていきたい。

Q:幼稚園、保育園のそれぞれの所管省庁が異なる。幼稚園、保育園ともに、それぞれメリット、 デメリットがあると思うが、認定こども園になると、これらが解決できるのか?

A: メリット、デメリットはいろいろあるが、メリットとしては、子どもが少ないところでは「同じ地域の子どもが同じ施設に入っていただける」、また、「仕事を辞めた世帯でもそのまま子どもは在園できる」、また、他地域でも言われているが、「保幼小中と一貫した教育が受けることができる」ということもある。

飯南、飯高の保護者も不安に思ってみえるのが「帰りの時間」であった。

先進地視察も実施し、検討を行い、安心して利用いただけるようにしていく。具体的なこども園の運営方法については、7月頃には内容を固め、飯南、飯高の保護者へ説明する予定である。

「帰りの時間」についても、子どもが不安にならないように「幼稚園の子どもに別の部屋 に行ってもらう」配慮をする等、安心して過ごせるように話し合っている。 こども園は全国で 5,000 園以上ある。メリット、デメリットについても、改めて説明したい。

- Q:R166 の道筋も加味し、地域全体の将来を考えると、危険なみなみ保育園でこども園を実施 せずに、最初から南小学校にこども園つくること等も考えてもらうとありがたい。
- A:「南小学校の敷地へ」というご意見をいただいた。気になるのは、南小学校の位置が土石流の 警戒区域になっている。そういったことを踏まえ、「新しい施設にするのか?」、「行政として 警戒区域に小さい子どもさんの施設を配置することはどうか」等といったところもあるので、 色々話し合いをしていかなければならない思う。「では、みなみ保育園はいいのか?」という とそれまでだが。

ちなみにアンケートにもいただいた大江中学校の場所であると警戒区域ではない。

Q: 松阪市ではこども園は進んでいない。できれば、どこかの地区で先にこども園を設置してほしい。大石地区のこども園は、松阪市第1号にしてほしくない。

例えば、幼稚園、保育園の帰りの時間をとっても「幼稚園は 14 時」、「保育園は 16 時」と か差異もある。これらが「子どもたちに影響がないのか」いう部分を含め、メリット、デメ リットもはっきり分かってくると賛同も得られるのではないか。

もっと松阪市のこども園が増えて良さが分かってきてから大石地区でこども園をはじめた らいい。その間に安全安心なこども園の場所を検討していけばいいのではないか。

- A:来年(令和2年)の4月1日から飯高に1園、飯南に2園、認定こども園が始まる。 来年に向けて保護者等々への説明会を7月頃に実施予定である。こども園は、しっかり成功させたい。またその内容についても、今後大石地区でも報告させていただく。
- Q: そもそも、みなみ保育園自体の移転は検討されてなかったのか?この話は、祖母によると、主人がみなみ保育園に通っていた時代からそのような(移転)話が出ていたとのことである。 昨年、地区市民センターの隣で土砂崩れがあった。子どもが居る時間であると考えると、 青ざめた。今の場所が安全安心とは思わない。「こども園にして移転する」という意味か?今まで何の検討もされてなかったのか?
- A:(私は、)平成7年に保育園の仕事に就き、この仕事を 20 年間担当させていただいているが、 みなみ保育園の移転の話については、はっきりと聴かせてもらったことがないのが正直なと ころである。

急傾斜地であることは始めの頃は知らなかったが、色々地域を知る中で解ってきた。以前は、大石幼稚園の所管が教育委員会だったこともあり、そこまでの話は聴こえてこなかった、

反省している。

そのようなこともふまえ、今回を機にしっかり話をできる会を作り、移転に向けて話合っていきたいし、しっかりとやっていかねばならないと改めて考えている。

Q:一番下の子どもが4月から大石幼稚園に入園した。1日入園の説明会の時にもこども園の話なかった。先日入園し、10日程たったところで急に、「こども園に移行するかもしれない」、「早ければ来年4月から」という話を聞いた。子ども達もまだ泣いたり、新しい環境で落ち着かない。大石幼稚園で3年間過ごして卒園させてほしい。

昨年9月にも話を聞いたが、「具体的にいつこども園になるか」ということは聞いてなかった。説明会の時、休園の話も出ていたが、今いる子は卒園を保障してもらい、また、「来年度から募集しない」ということにしないで、継続して募集し、こども園にしていってほしい。

A: そのようなご意見が多いと聞いている。アンケートに切実に出ており、重要な意見と受け止める。

こども園の話をしなかったのは、昨年の募集時に11名であったことから、本来であれば、年末に休園の話をすることも一つであったが、その前の9月に認定こども園の話が出ていたことから、年度も変わり、「新入児の保護者からの新しい意見も含めて検討していければ」と考えた。確かに、昨年詳しい話はしていない。

他例で、「今の3歳児が卒園する3年後に休園」というパターンもある。引き続き募集を続けるということは、「遅くとも3年後に(入園した施設から)施設を変わる」ということが分かった上で入園するという意味でよいか。

Q:次の募集かける時、必ず「こども園に変わる」という説明をつけてほしい。その時がスタート 地点なのかと思っている。今はスタート地点ではないのではないか。

A:次の募集をかけるときは、「しっかり伝え、了解してもらった上で入園してもらう」ということも一つの方策として考えていきたい。

- Q:みなみ保育園は崖崩れで危ない。R166から入ってくる道も狭いので、新しい施設を建て、 こども園に移行してほしい。
- A: 一つのご意見として検討させてもらう。移転計画も含めて保護者の代表も入っていただき、総合的に考えていく会を作り、共有を図りながら良い方向をめざしていければと思う。 休園という形をとるよりは、こども園という新しく形を変えて地域の中で存続させていけれ

ばとも思う。

Q: 飯南、飯高にはもともと幼稚園がなかった。大石には幼稚園と保育園の両方がある。このままだと山間部に幼稚園がなくなることになるがいいのか?幼稚園と保育園を選べるのはいいことではないか。

A: どうしても集団的教育ということもある。飯南、飯高にはもともと保育園しかないので、保護者が働かなければ入れない。一部でもそういう方(保育の必要のない方)が入れる仕組みをつくらなければならないということでつくった。

いろんな環境の人が教育保育を利用しやすくなるように考えていく。仮に飯南・飯高で幼稚園(要件)の募集が0人であっても、認定こども園としてスタートする。

こどもが少ない中、「一つの施設で過ごしていくことが地域にとってもいいのではないか」と 考えているが、「(こども園) ありき」ではなく、いろいろな可能性を考えていく。

Q: 松阪市内にすでにこども園はあるのか?

A:現在は、なし。来年(令和2年)4月より飯南、飯高で認定こども園が始まる。

Q: 今年度から市内全域での3歳児保育開始、ありがとう。

こども園にするのなら時間を十分とって進めていただきたい。入園案内の時に知らなかった 人もいて残念に思う。3歳児保育も始まり、市内のどこの幼稚園も選べたのに、あえて大石 を選んだ気持ちをふみにじることにもなる。ゆっくり時間をかけて多くの人が納得する形で 進めてほしい。

A:何も説明もなく、突然であったかと思う。ただ、この4月のタイミングは、今年の10月には来年度の募集を行うこともあり、広報等の時期も逆算すると、いつかは話をしなければいけない、ということで先週と今回となった。時間はかけるが、5年10年というスパンではない。多くの意見を聞き、できる限り尊重し、方向性を定めていければと思う。

Q:こども園を始める時は、「既存の施設を使用する」と聞いているが、なぜ新しい施設を建築することはだめなのか?

みなみ保育園、大石幼稚園が危険個所であり、2年前にも土砂崩れがあった。この状態をそのまま放置しておいてよいのか。新設して子どもたちの命を守るのが筋ではないか。近年は、 ゲリラ豪雨も多い。自治会として、こどもの安全を考え、既存のものでなく、新しい市の施設を要望する。

A: 資料 P10 最下部のQ&Aにもある。大石幼稚園の保護者から意見も出ている。新しい施設は、 選択肢として全くないことはない。ご意見として承っていく。方向性の1つであると考える。

- Q: 大石幼稚園に長年通っている。少人数だが、地域とのかかわりが深く、地域の方によくしてもらっているので、地域から幼稚園がなくなると寂しいし、悲しい。大石地区の衰退にも繋がるのではないか。
- A:いろいろな思いもあると思う。危険地域もふまえると、どちらが良いのかという考えもある。 これからも、いろいろな意見をいただき、アンケート等もふまえ、市として方向性を示せる ように検討していきたい。